

機械器具 16 体温計

管理 電子体温計 (JMDNコード: 14032010)

テルモ電子体温計 C595

【禁忌・禁止】

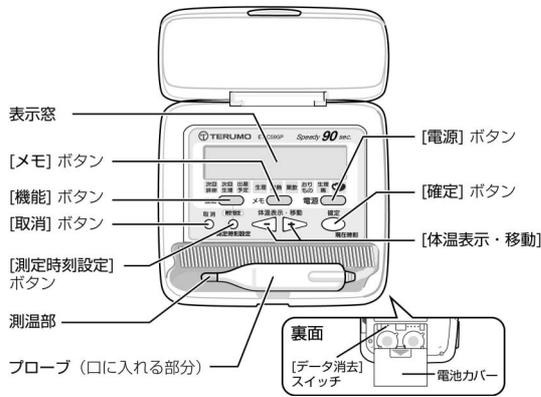
＜使用方法＞

- ・引火性のある環境では使用しないこと。  
[引火又は爆発の誘因となる可能性がある。]

【形状・構造等】

＜構造図＞

- 本体



- ・本体 表示窓



【電氣的定格】

- (1) 電源 リチウム電池 (CR2032) 2個
- (2) 定格電圧 DC6V

【機器の分類】

電撃保護 内部電源機器 B F 形

【性能、使用目的、効能又は効果】

＜使用目的＞

本品は、体温を計測し、記録するために使用する。また、周期解析により次回排卵日、次回生理日及び出産予定日を推定する機能を有する。

＜仕様＞

種類：婦人用測温部一体形・一部防浸形  
 検温方式：予測式(予測検温・実測検温兼用) 温度検出:サーミスタ  
 検温部位：口中(舌下)

体温範囲：32.00～42.00℃

検温時間：予測式で約50～120秒、実測式で約5分

温度指示精度：±0.05℃ (35.00～38.00℃)

±0.10℃ (32.00～34.99℃及び38.01～42.00℃)

(恒温水槽を用いて約1分間測定したときの表示温度の標準温度計に対する誤差)

表示方式：4桁デジタル (最小表示単位0.01℃)

使用条件：温度 10℃～40℃ 相対湿度 30～85%RH

(ただし、結露なきこと)

主な付加機能：

- ・日時表示機能：年(西暦下2桁)、月、日又は時、分を表示する。
- ・時計設定機能：時刻を設定する。
- ・アラーム設定機能：アラーム時刻、音量を設定する。
- ・アラーム機能：設定した時刻になるとアラームが鳴る。
- ・体温値記録機能：測定した体温値を240日分記録する。その際、予測値の場合はその旨を同時に記録する。
- ・メモ記録機能：メモ事項を入力し、体温値と同時に記録する。
- ・推定機能：次回排卵日、次回生理日及び出産予定日をそれぞれ推定し、表示する。
- ・オートパワーオフ機能：所定時間に操作がなかった場合、電源が自動的に切れる。
- ・警報機能：電池電圧低下表示、エラー警報、オーバー表示

【操作方法又は使用方法等(用法・用量を含む)】

【体温測定のしかた】

1. 年月日及び時刻の設定及びアラームの時刻の設定を行う。
2. アラーム設定時刻にアラームが鳴ったら、[電源] ボタンを押して、電源を入れる。
3. プローブを本体から取り出し、舌下中央のすじの横に体温計の先端(測温部)をあて、舌を下げて口を軽く閉じる。
4. ブザーを聞いてから体温計を取り出す。
  - ・予測検温  
最初のブザーで取り出す(約50～120秒で測れ、予測マークが点灯している)。
  - ・実測検温  
2度目のブザーが鳴るまで待つて取り出す(約5分で測れ、予測マークが消えている)。  
より厳密な基礎体温を測定するには、実測検温を行う。
5. [電源] ボタンを押して、電源を切る。
6. 体温測定後すぐに再測定した場合は、記録された体温を更新する。
7. 乾いた布等で水気をふき取り、本体に収納する。

【測定の自動記録】

- ・毎日の測定時刻を設定しておく、アラーム音が鳴り、その後2時間以内で最初に測定した値が自動的に記録される。

取扱説明書を必ずご参照ください。

#### [メモ記録のしかた]

1. 測定当日にメモすべき事項（生理、発熱等）があった場合、[メモ] ボタンを押してメモモードにする。
2. メモ事項の表示の上にカーソルが点滅表示するので、再度[メモ] ボタンを押す、メモ事項を選択する。
3. [確定] ボタンを押すと、選択したメモ事項のカーソルが点灯に変わり、入力される。

#### [推定機能の見かた]

1. [機能] ボタンを押す、機能モードを選択する。
2. はじめは「次回排卵」表示の上に点灯カーソルと、次回排卵日が表示される。
3. 次に[機能] ボタンを押すと、「次回生理」表示の上に点灯カーソルが移動し、次回生理日が表示される。
4. 更に[機能] ボタンを押すと、「出産予定」表示の上に点灯カーソルが移動し、出産予定日が表示される。
5. それぞれの推定日が確定していないときは、「—/—/—」が表示される。

#### [体温値の表示のしかた]

1. 記録した体温値は、横軸が日付、縦軸が温度のグラフ及び数値で表示される。
2. [体温表示・移動] ボタンを押す、見たい日付にカーソルを移動させると、グラフに対応した日付の体温値及びメモ記録が表示される。

#### [アラームの設定]

1. 電源を入れた状態で、[測定時刻設定] ボタンを押す。
2. 設定時刻が表示され、時刻の時の数字が点滅する。
3. [体温表示・移動] ボタンにより時を選択し、[確定] ボタンを押す。
4. 次に時刻の分の数字が点滅する。
5. [体温表示・移動] ボタンにより分を選択し、[確定] ボタンを押す。
6. 次にアラーム音量が表示され、3段階又はオフのいずれかを選択し、[確定] ボタンを押す。

#### [現在時刻の表示のしかた]

- ・電源を入れた状態で、[確定] ボタンを押し続けると、押し続けている間表示される。

#### <使用方法に関連する使用上の注意>

- ・口中以外で使用しないこと。[けがの可能性がある。正確な検温ができない。]
- ・毎朝の基礎体温の測定は、寝ている状態のまま体を動かさず、なるべく同じ時間帯に測定すること。[基礎体温を正確に測定できないことがある。]
- ・検温中はプローブが動かないように、指で支えること。[測定部が正しい位置からずれると、正確な検温ができないことがある。]
- ・検温中は会話や口での呼吸等、口を開けたり、体を動かしたりしないこと。[測定部が正しい位置からずれると、正確な検温ができないことがある。]
- ・取り出してから表示値が変化したときは、変化後の（固定した）値を読み取ること。[予測演算が終了するまで若干の時間がかかるため。]
- ・数値を読み取る際、体温計の先端に触れないこと。[表示が変化することがある。]
- ・表示が点滅するときは、最初から検温をやりなおすこと。

- ・くり返し検温するときは、少し時間をおくなど、体温計の先端を冷ましてから検温すること。[そのまま測ると、測定値が高くなることがある。]
- ・測定値を自動記録するため、必ず現在の日付・時刻と測定する時刻（アラーム）を設定すること。
- ・電池交換後は、必ず現在の日付・時刻や測定する時刻（アラーム）を間違えないように再度設定すること。[前の日付に設定すると、記録された測定値やメモが失われることがある。現在時刻や測定する時刻（アラーム）がずれることがある。]
- ・データ消去スイッチを押すときは、針やクリップの先等、金属製のものは使わないこと。つまようじを使用するときは、先端が折れないように注意すること。

#### [使用上の注意]

##### <重要な基本的注意>

- ・電池は子供の手の届かない所に置くこと。[子供の手の届くところに置くと、誤飲の可能性がある。]
- ・人の体温測定以外に使用しないこと。[けがの可能性のある。誤作動や故障の原因となる。]
- ・測定結果の自己診断、治療は行わないこと。[自己診断、治療は危険である。]
- ・添付文書及び取扱説明書を確認の上、使用すること。
- ・使用の前に、外観に破損等がないことを確認し、異常が認められた場合は使用しないこと。[測定値の異常や、けがの可能性のある。]
- ・本品は気密構造ではないので、活性ガス（消毒用ガスも含む）環境や多湿環境等で使用、放置しないこと。[内部の電子部品に影響を与え、劣化や損傷により故障の原因となる。]
- ・本品に液体や異物が入らないように注意すること。[液体や異物が入ると内部の電子部品に影響を与え、劣化や損傷により故障の原因となる。]
- ・次回排卵日、次回生理日、出産予定日の推定機能はオギノ式に基づくが、あくまで参考として使用すること。
- ・強くかまない、落とさない、強いショックを与えない、曲げない、引っぱらないこと。[故障の原因となる。]
- ・コードを必要以上にのばさないこと。[故障の原因となる。]
- ・重いものをのせたり、重いもの間にはさんだりしないこと。[故障の原因となる。]
- ・本体のフタを開閉するとき、指をはさまないように注意すること。[けが又は故障の原因となる。]
- ・強い静電気や電磁波に近づけたり、近くで携帯電話を使用しないこと。[誤作動や故障の原因となる。]
- ・古い電池を取り出すときは、つまようじ等を使い、金属製の棒等は使用しないこと。
- ・電池の交換は同じ種類の新品の電池を2個同時に行うこと。[古い電池を混ぜて使用すると電池が発熱し、故障の原因となる。]
- ・指定以外の電池を使用しないこと。[故障の原因となる。]
- ・電池交換の際は、電池のプラス面を上にして入れること。[プラス、マイナスの向きを間違えて入れると故障の原因となる。]
- ・電池を重ねて置かないこと。[発熱、発火の原因となる。]
- ・電池を火の中に投げ込まないこと。
- ・分解、修理、改造は行わないこと。[故障の原因となる。]

##### <その他の注意>

- ・病気の治療等で薬物を使用している場合は、正確な推定日を推定できないことがある。

## 【作動・動作原理】

本品は、サーミスタの抵抗変化を利用して温度を検出し、検温開始から約2分30秒までは予測値、約2分30秒以降は実測値の最高値をデジタルで表示する婦人用電子体温計である。検温中は、約50～120秒の時間に予測が成立したことを知らせるブザーが鳴る。検温はそのまま続け、約5分で検温終了のブザーが鳴る。測定した体温値はメモリーに記憶される。また、過去6ヶ月分の月経周期、高温相期間及び低温相期間のデータを平均（最大値及び最小値を除いた3ヶ月以上の平均）し、次回排卵日、次回生理日及び出産予定日を推定する。

## 【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

### <貯蔵・保管方法>

- ・暖房器具のそば、車の中、日光のあたるところ、ほこりの多いところ、湿気の多いところを避けて保管すること。

保管条件：周囲温度 -10～50℃ 相対湿度 30～95%RH  
(ただし、結露なきこと)

### [保管上の注意]

- ・プローブを本体に収納する際は、乾いた布等で水気をふき取ること。[水気が付いたまま本体に収納すると故障の原因となる。]

### <有効期間・使用の期限>

- ・標準的な使用期間の目安：4.5年 [自己認証による]

## 【保守・点検に係る事項】

### [保守・点検上の注意]

- ・水洗いしないこと。[プローブの先端部以外は防水構造ではないため、故障の原因となる。]
- ・本品の汚れがひどい場合は、布等を水又はぬるま湯に浸し、よくしぼってから拭き取ること。
- ・シンナー等の有機溶剤、ポビドンヨードでは拭かないこと。  
[有機溶剤や使用可能な消毒剤以外を使用した場合、本品の破損や故障の原因となる。ポビドンヨードで拭くと色素が付着することがある。]
- ・消毒液等に水没させないこと。消毒する際は、先端部のみを必要な時間だけ行い、その他の部分は脱脂綿等で拭くこと。  
[防水構造ではないため、故障の原因となる。必要な時間については消毒液の添付文書参照のこと。]
- ・クレゾールは使用しないこと。[故障の原因となる。]
- ・熱湯消毒しないこと。[故障の原因となる。]
- ・超音波洗浄しないこと。[故障の原因となる。]
- ・ドライヤー等を使用して乾燥させないこと。[故障の原因となる。]

## 【包装】

- ・1台/箱

## 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者：テルモ株式会社

住 所：東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目44番1号  
電 話 番 号：0120-00-8178 (テルモ・コールセンター)

製 造 業 者：テルモ株式会社

外国製造所の名称：エプソンプレジジョン香港  
EPSON PRECISION HONG KONG LTD.

国 名：中華人民共和国

